

# 新社長のご紹介と 長期ビジョン2035による企業価値創造に向けて

---

2024年10月2日

富士製薬工業株式会社

東証プライム 4554



**FujiPharma**

1

## 社長交代について

取締役顧問 今井 博文

2

## 新社長の選任プロセスと 今後の経営体制

代表取締役会長 岩井 孝之

3

## 今後の経営方針

代表取締役社長 森田 周平

4

## 長期ビジョン2035

5

## Q&A



1

## 社長交代について

取締役顧問 今井 博文

次なる  
挑戦へつなぐ



60周年の区切りで  
創業家の  
ワンマン経営からの刷新



次世代の森田新社長による  
次なる挑戦ステージへの転換を  
しっかり見据えることができた

諦めずに成し遂げる実行力と  
優れたヒューマンスキルで  
将来ビジョンを必ずや実現してくれる



## 新社長の選任プロセスと 今後の経営体制

代表取締役会長 岩井 孝之

# 選任プロセス・選任理由

## 約5年間にわたり、 新社長候補を検討

- 前中経 2019.10～2024.9 : 製品開発フェーズ
- 新中経 2024.10～2029.9 : 製品価値最大化のフェーズ
- フェーズに適したリーダー像

## 指名報酬委員会から の指摘事項・意見

- 営業以外の広範な業務経験と全般を俯瞰する力の必要性
- 2021年10月～2023年9月 SCM部長（調達～販売を総合的に俯瞰）
- 2023年10月～2024年9月 経営企画部長

## 指名報酬委員会での 選任理由

- 新製品の開発が5年間で順調に進み、製品ポートフォリオが拡大、会社として次のフェーズに入るタイミングになったこと
- 森田氏がいずれの部署でも安定した実力を発揮し、営業部での長い経験も活かし社内外の求心力をもって新製品の価値最大化に向けてリーダーとしてふさわしい



# 取締役会議長として、執行の監督を中心に経営をサポートします

## 取締役会



取締役会議長  
**岩井 孝之**  
執行の監督

取締役 **9名**

社内 **4名** 社外 **5名**

(現状：社内5、社外4)

権限移譲

提案・報告

## 経営執行会議



代表取締役社長  
**森田 周平**  
業務執行

執行役員 **16名**

※正式な決定は2024年12月20日に開催される  
定時株主総会及び取締役会において行われる予定です。



## 今後の経営方針

代表取締役社長 森田 周平





もりた しゅうへい

代表取締役社長 **森田 周平**

所有する当社株式数 **3,793株**

藤沢ファイソンス（現サノフィ）、GSKにて、MRとして開業医や大学病院を担当後、富士製薬工業に入社。当社ではMRとしてスタートし医薬品流通に従事。営業管理職を経て、営業本部長として営業組織とマーケティング組織を統率し当社の市場におけるプレゼンス向上を果たす。その後、SCM部長として原材料の調達から製品出荷までを管理する立場となり、生産に関わる各機能、営業本部との連携を通じて供給制限品目の半減など安定供給体制の構築を果たす。経営企画部長に就任後は、生産、営業、研究開発、信頼性保証、コーポレート、海外グループ会社のOLICと連携して、直近2024年9月期の事業計画の推進、全社機能を把握し前中期経営計画の課題を踏まえた新中期経営計画の作成を主導する。

経営理念

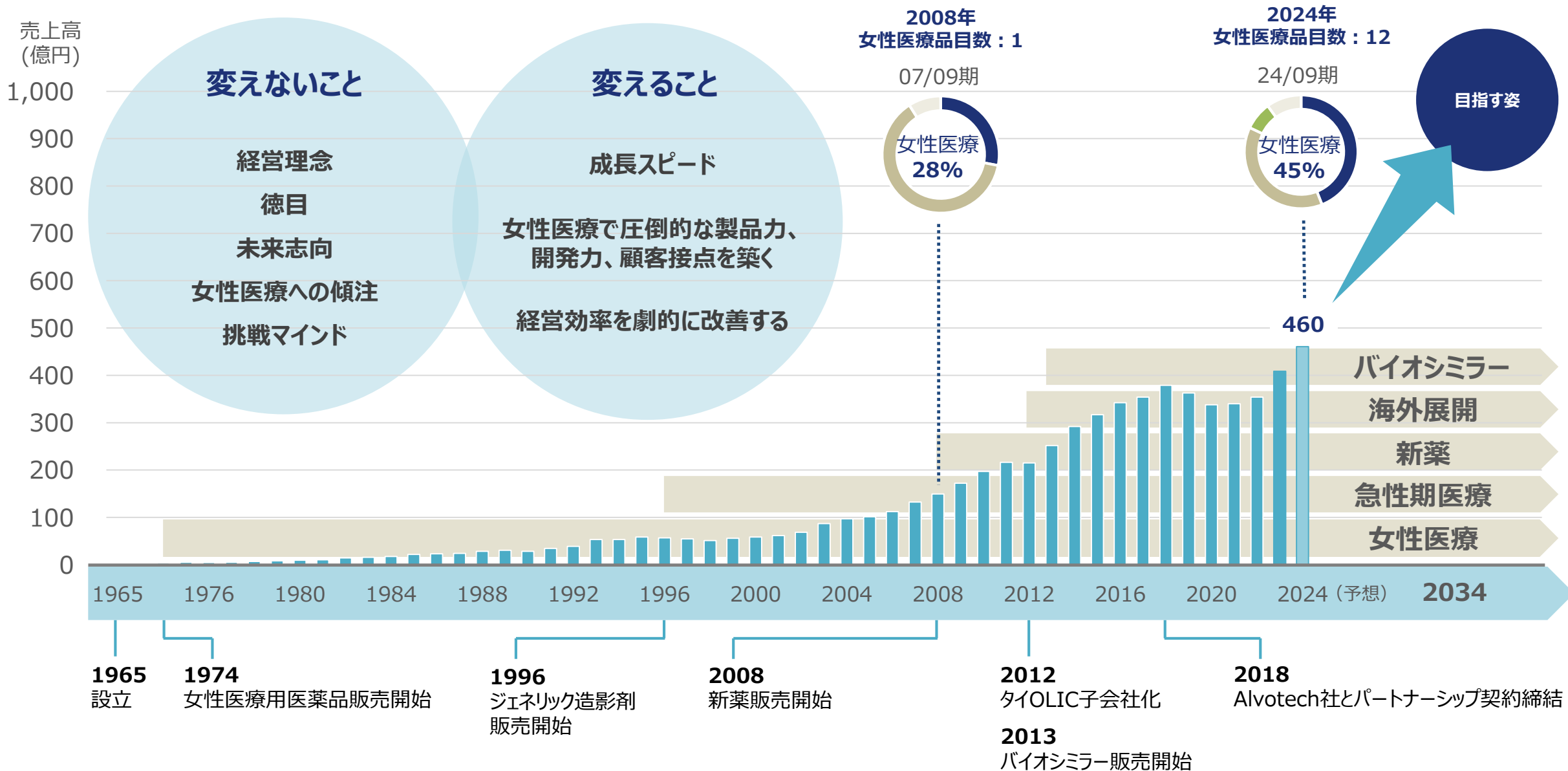
優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する  
 富士製薬工業の成長は、わたしたちの成長に正比例する

経営において  
 大切に  
 する  
 「徳」



自己の最善を  
 他者に尽くしきること

# さらなる挑戦を通じて成長を加速させます



- 全ての社員が  
幸せを実感できる会社になります
- 人がど真ん中、  
人的資本経営に更に注力します
- 10年、20年後を見据え、  
価値提供、他社にない圧倒的な  
強みの獲得を目指します
- 未解決・未充足の女性の健康課題解決に全力で取り組むことで社会に貢献します
- 経営理念、徳目教育を通じて構築された  
真面目で誠実な組織風土を大切にしていきます
- 社員みんなが、更なる成長と貢献を  
主体的に果たせるよう、フラットでオープン、  
一体感のある組織を構築します
- 全てのステークホルダーと共に  
企業価値を向上させ、  
早期のPBR1倍超えを実現します



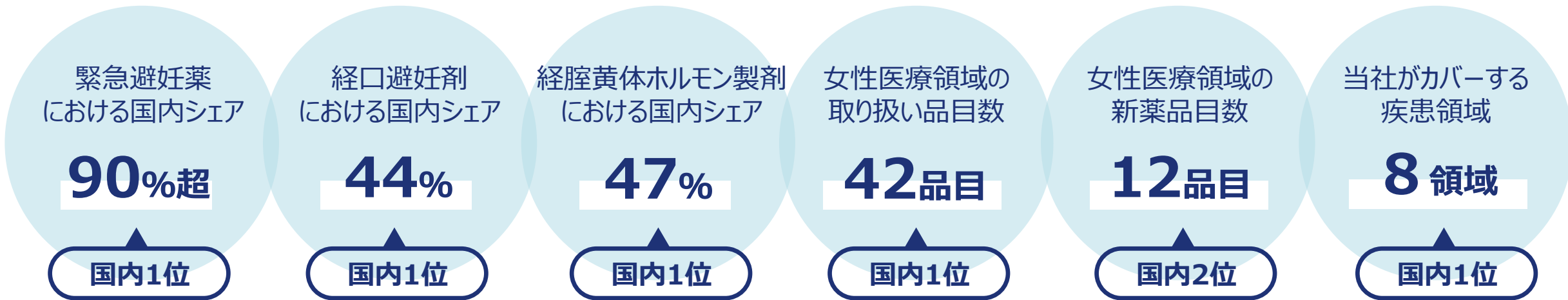
**長期ビジョン2035**

**女性医療で新たな価値を創出し続け、  
誰もがwell-beingを実感できる社会へ貢献する**



# これまで築いた無形資産・有形資産が強みにつながっています

## 女性医療領域が当社の強み



### 顧客資産

大学病院における  
産婦人科製剤採用率

**100%**

### 販売体制

女性医療領域専門の  
MR

**90名**

**同業他社比 3倍超**

### 生産体制

高い生産・品質保証を  
構築する工場設備

**1.5億錠→4.5億錠**  
国内生産を賄える

### 24/9期（予想） 女性医療領域の売上高

新製品上市などで成長。  
成長を加速させ、業界No.1へ

**208億円**

**45%**

売上高構成比

※当社調べ

※女性医療領域の範囲の定義：更年期障害、不妊症、経口避妊剤、月経困難症、子宮内膜症、抗がん剤、周産期、感染症

# 女性の健康課題は日本社会にとって大きな課題です

人生のうち、女性は男性よりも**25%多い時間を、不健康な状態で過ごしています**※1



月経随伴症に伴う経済損失額

約**6,000**億円

更年期症状による経済損失額

約**1兆9,000**億円



※2

## 女性を取り巻く健康課題

子宮内膜症  
(推定患者数※3)

約**17**万人

月経随伴症  
(推定無治療人数※5)

約**1,300**万人

子宮筋腫  
(推定患者数※3)

約**19**万人

更年期症状  
(推定無治療人数※5)

約**300**万人

婦人科がん  
(15~64歳の患者数※3) (検査や治療を受ける割合※4)

約**57**万人

不妊症  
(検査や治療を受ける割合※4)

約**4.4**組に**1**組

※1 出典：世界経済フォーラム2024「Closing the Women's Health Gap: A \$1 Trillion Opportunity to Improve Lives and Economies」

※2 出典：経済産業省ヘルスケア産業課「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」

※3 出典：厚生労働省「令和2年患者調査」

※4 出典：厚生労働省「不妊治療と仕事との両立サポートハンドブック」

※5 出典：経済産業省ヘルスケア産業課「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」、厚生労働省「人口動態統計」をもとに自社推計

既存製品・開発製品の最大化を通じて、成長を目指します。

**01**  
女性医療

**02**  
バイオシミラー

**03**  
グローバルCMO

**04**  
次の成長ドライバー  
の仕込み・見極め

長期の成長けん引役



5

**Q&A**

※数値目標や具体的な施策は、  
11月26日開催予定の新中期経営計画説明会でご説明いたします。

- 11月12日(火) 2024年9月期決算発表
- 11月15日(金) 2024年9月期決算説明会
- 11月26日(火) 新中期経営計画説明会

11月15日、26日に予定しております説明会につきましては、  
別途ご案内申し上げます。



## 予想および見通しに関するご注意事項

本資料に記載の業績予想及び将来の予想等に関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき弊社にて判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。また、本資料に含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

### 連絡先

---

富士製薬工業株式会社 経営戦略本部 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

**E - M a i l** : fsk\_ir@fujipharma.jp

**U R L** : <https://www.fujipharma.jp/>